

AIエージェント経済の衝撃：検索から「実行・委任」への大転換

検索・比較の世界（中国の先行）



社会インフラ（配管）

主な先行領域

- EC
- ローカルサービス
- 広告

生成AI利用率
(2026)
86.3%

中国:
+5-12%
GDP
increase

2030年
AIエージェント普及率
90%超

競争の核心はLLMより「社会インフラ」：
決済・ID・物流の配管が整う中国の強み。

大転換：
消費者が権限を渡し、
AIが自動完結

委任・実行の世界（日本の逆転戦略）



フィジカルAIと現場の結合

人手不足を解消する「フィジカルAI」：
労働力減少を補完、製造・医療・介護の現場とAI結合。



信頼を基盤とした「社会API」
日本独自の安全な委任インフラが不可欠。

15年後のGDP水準
最大**10%**押し上げ
累積GDP +4~10%

生成AI利用率
(2026)
34.9%

主な先行領域

- 事務
- 製造
- ロボティクス
- 医療